

平成27年3月16日

宇和島市水道事業経営審議会
会長 大野 久 様

宇和島市水道局
宇和島市長 石 橋 寛 久

宇和島市の適正な水道料金について（諮問）

宇和島市の水道事業は公衆衛生の向上と生活環境の改善という理念の下、市民の皆様に安心、安全な水を安定的にお届けし、日常生活はもとより社会経済の発展に尽くしてまいりました。

このような中、水道事業は、対処しなければならないさまざまな問題に直面しています。

なにより、人口減少に伴う水需要の落ち込みにより、経営の根幹となる料金収入が年々減少しています。

一方で、昭和40～50年代の拡張期に設置した水道管が次々と法定耐用年数を迎え、更新需要が激増しており、また施設の耐震化も喫緊の課題となっています。

さらに、平成28年度には簡易水道の統合を控えており、これまで以上に施設の維持管理費用が膨らんでいくものと思われます。

水道局では、莫大な費用を要する管路更新や施設耐震化の「第7次整備事業」に平成21年度から取り組んできましたが、平成22年4月の料金改定により財源を確保し、これまで黒字経営を維持してまいりました。

しかしながら、今後の経常収支を算定すると、このままでは平成29年度には赤字経営に陥る見通しとなります。

このため、今後の水道事業の運営にあたり、道半ばである「第7次整備事業」をこれからも進めていくために、必要な財源をどのように確保すべきか、貴審議会にご意見を求めるものです。

「安心、安全な宇和島の水道」を維持していくため、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。